

令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	要 旨	答弁者
10	18	鈴木 弘 議員		1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1	富士宮市の成長戦略になる環境政策「ゼロカーボン推進戦略」について	<p>富士宮市において2021年1月に「ゼロカーボンシティ宣言」がされ、2022年1月に「富士宮市ゼロカーボン推進戦略」が策定された。目標達成に向けて事業者や市民の意識を高めていかなければならないと考える。そこで伺う。</p> <p>(1) 太陽熱利用については、今後、調査研究を進めるとあるが、どう考えているか伺う。</p> <p>(2) PPAモデルを活用した太陽光発電の導入推進とあるが、市及び民間の状況を伺う。</p> <p>(3) 省エネについて。</p> <p>① 公共施設のZEB化とあるが、計画を伺う。</p> <p>② 2025年までに新築住宅の100%ZEH化とあるが状況を伺う。</p> <p>③ 「地産地消となる地域材を使用してモデルとなるような建築物をつくる取組を積極的に行い」とあるが、どのように進めていくのか伺う。</p> <p>④ 既存住宅の断熱改修の推進の考えはいかがか。</p> <p>⑤ 公共施設のLED化の状況を伺う。</p> <p>(4) 電気自動車等導入割合の目標が2030年度46%とある。どのように進めていくのか伺う。</p> <p>(5) 事業所について「関心はあるが特別な対応はしていない」とある。事業所の役割を伺う。</p> <p>(6) 市民の役割を伺う。</p> <p>(7) 「戦略」の目的に「地域の成長戦略ともなる脱炭素の工程と具体策を示す」とあるが、脱炭素と成長戦略の関係をどう考えているのか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	スギ花粉症対策のためのスギ林伐採及び危険木の伐採補助について	<p>政府はスギ花粉半減のため、スギ人工林の伐採規模を現在の年間5万ヘクタールから7万ヘクタールに拡大し、10年後に面積を2割程度減らすという。そこで伺う。</p> <p>(1) 富士宮市内のスギ林の面積と樹齢を伺う。</p> <p>① 市有林について。</p> <p>② 民有林について。</p> <p>(2) 富士宮市においても取り組むことができるか伺う。</p> <p>① 市有林について。</p> <p>② 民有林について。</p> <p>(3) スギ花粉症対策のためにこれまでに取り組んだ事業はあるか伺う。</p> <p>(4) 倒木による自然災害から市民の生命や財産を守るため、また居住している建物や道路に被害を与えるおそれのある立木を伐採する経費に、補助ができないか伺う。</p>		市長 副市長 関係部長